

一般社団法人 日本生態学会

2025 年度第 4 回通常理事会議事録

1. 日時：2026 年 2 月 21 日（土）13:00～17:00
2. 場所：キャンパスプラザ京都 第 2 会議室およびオンライン（Zoom）
3. 出席者：
 - ・理事会構成員（19 名・定足数 10 名以上）
（理事）北島薫、日浦勉、内海俊介、半場祐子、久米篤、木村恵、
村岡裕由、相場慎一郎、石濱史子、小林真、東樹宏和、
工藤岳、土居秀幸、西廣淳、中野伸一、吉田丈人
 - ・監事：黒川紘子、立田晴記
 - ・オブザーバー：兵藤不二夫、大澤剛士、門脇浩明、関島恒夫、
佐竹暁子
 - ・事務局：鈴木晶子
4. 議事概要：

定足数 10 名を超える 16 名の理事の出席を得て理事会が成立したことを確認した後、定款第 42 条に従い北島薫会長を議長として議事を進行した。議事録署名者は、定款第 46 条に則り、北島薫会長、黒川紘子監事、立田晴記監事、議事録作成者は内海俊介専務理事が担当することとした。

報告事項

1. 事務局報告（庶務・会計）
 - ・資料 1 に基づいて内海専務理事より功労賞候補者が承認されたこと、研究助成への推薦、寄附金の入金があったことなど庶務 3 件、会計 6 件の報告があった。
 - ・2025 年会員数が 4000 人を超えて特に学生会員が増加しているとの報告があった。
2. Ecological Research 編集委員会報告
 - ・資料 2 に基づいて兵藤編集長より編集委員の交代、投稿規定の一部変更、各賞受賞総説投稿状況、ESJ73 でのブース出展予定について報告があった。
3. 日本生態学会誌編集委員会報告
 - ・資料 3 に基づいて相場理事より刊行状況、編集状況と編集委員会が実施され

たとの報告があった。

- ・ 生態誌の年1号化については再検討することになり2026年は2号発行予定との報告があった。

4. 保全生態学研究編集委員会報告

- ・ 資料4に基づいて大澤編集長より保全誌30巻2号を出版したこと、保全誌編集長としてジャパンリンクセンター講演会にて講演を行ったとの報告があった。

5. 英文誌出版状況報告

- ・ 資料5に基づいて久米理事より研究成果公開促進費執行状況、種生物学会ブース展示、編集システムの移行状況等について報告があった。

6. 大会準備状況報告 (ESJ73)

- ・ 資料6に基づいて門脇企画委員長よりESJ73についてプログラム公開やウェブでの大会情報の更新、受賞講演での自動翻訳アプリ使用、生成AI利用指針の掲載、京都市助成金の申請など大会準備が順調に進んでいるとの報告があった。
- ・ 今後の予定として、講演要旨の締切、ポスターアップロード、大会概要PDF作成、企画委員会の実施、実行委員会・企画委員会引継会開催について報告された。

7. 各種委員会報告 (自然保護・キャリア支援・情報交流)

<自然保護専門委員会>

- ・ 資料7に基づいて関島委員長より2025年活動費支出および2026年活動費予算について、2026-2027年委員会体制について、要望書提出と記者会見についての報告があった。

<キャリア支援専門委員会>

- ・ 資料7に基づいて木村理事より「誰もが快適にフィールドワークを行うための野外調査マニュアル」作成を進めていること、2/6にオンラインフォーラム「好きな研究をして暮らすには」を実施したとの報告があった。
- ・ 委員会のウェブサイト「ダイバーシティ推進に関する参考資料集」の掲載準備をしているとの報告があった。

<情報交流支援専門委員会>

- ・ 資料7に基づいて村岡委員長よりJeconetにおけるトラブル対応、今後の委員会体制の変更について報告があった。

8. 大会運営改革タスクフォース報告
 - ・ 資料 8 に基づいて吉田大会担当理事より大会開催の受け入れに関する地区会アンケートの実施について報告があった。

9. 監査報告
 - ・ 資料 9 に基づいて黒川監事より 2025 年度の事業報告、計算書類および付属明細書、そのほか理事の職務執行についての監査を行い適正に行われたことが報告された。

10. Global Ecology Alliance について
 - ・ 資料 10 に基づいて小林理事より 12 月に開催された THE GLOBAL ECOLOGY ALLIANCE(GEA)の設立へ向けた次のステップに関するオンラインミーティングの議事録とともに、GEA の設立趣旨についての意見照会がなされた。生態学会としては、GEA 設立へ向けて協力するという方針を確認した。

審議事項

第 1 号議案 2025 年度決算案について

- ・ 資料 11 に基づいて内海専務理事より 2025 年決算報告があり、会員数の増加により会費収入が増えたこと、予算としてこれまでの余剰金を大会や英文誌 OA 支援に支出し単年度収支で 1200 万円ほどの赤字を見込んでいたが、570 万円ほどの赤字に抑えられたとの説明があった。
- ・ 2025 年一般会計・特別会計・貸借対照表の決算について全会一致で承認された。

第 2 号議案 2026 年度予算案について

- ・ 資料 12 に基づいて内海専務理事より 2026 年予算について、サーバー保守・Web サイトリニューアル費用を計上していること、過去の理事会で承認されている繰越金を減らしていく方針にあわせて約 980 万円の赤字見込みとしているとの説明があった。
- ・ 2026 年予算について全会一致で承認された。

第 3 号議案 役員選任について

- ・ 日浦副会長より 2026 年 3 月の任期満了に伴う新理事・監事候補の提案があり全会一致で承認された。

第4号議案 大会開催について

- ・資料13に基づいて北島会長より ESJ75 について広島国際会議場を2028年3月16日～20日にて開催の提案があり、全会一致で承認された。なお、今後の準備状況によって会期を4日間に短縮する可能性もあることが申し添えられた。
- ・2029年3月の大会については、これまでの地区会持ち回り開催を大会運営改革TFで検討中のため2026年3月の総会には提案しないことが報告された。

第5号議案 委員の承認

- ・資料7に基づいて関島自然保護専門委員長より2026年4月から2028年3月の委員候補者について提案があり、全会一致で承認された。
- ・資料7に基づいて木村理事より2026年4月から2028年3月のキャリア支援専門委員候補者について提案があり、全会一致で承認された。
- ・

第6号議案 ER論文賞について

- ・資料2に基づいて兵藤編集長より5編の論文賞候補の説明・提案があり全会一致で承認された。

第7号議案 英文誌編集委員に対するインセンティブ付与について

- ・資料5に基づいて久米理事よりPSB誌と同様にER誌・PE誌英文誌編集委員についてもAPC補助のインセンティブ付与が提案され、全会一致で承認された。

第8号議案 大阪公立大学附属植物園への要望書について

- ・資料14に基づいて北島会長より説明があり、大阪公立大学植物園の「共同利用・共同研究拠点～機能強化支援～」申請について学会名で要望書を提出することが全会一致で承認された。

第9号議案 総会の日時及び場所並びに議事に付すべき事項の決定について

- ・資料15に基づいて北島会長より提案があり、総会日時および場所並びに議事に付すべき事項について全会一致で承認された。

その他

- ・北島会長より学術会議より学会宛に会員推薦依頼があったことが報告された。

- ・資料 16 に基づいて北島会長より「ネイチャーポジティブアワード」への協力依頼があったことが報告された。
- ・資料 17 に基づいて北島会長より、東北地区会から地区会活動費見直しの検討依頼があったことが報告された。地区会活動において費用が不足する場合は執行部で事情を鑑みて対応していく。

閉会：以上の議事を終え、17時27分に閉会した。

上記の決議を明確にするため、会長、監事がこれに記名押印する。

2026年2月21日

会 長 : 北 島 薫 ⑩

監 事 : 黒 川 紘 子 ⑩

立 田 晴 記 ⑩